

2021年12月期 第1四半期業績概要

2021年5月12日
日東精工株式会社
(証券コード 東証1部:5957)

2021年12月期 第1四半期（連結）業績ハイライト



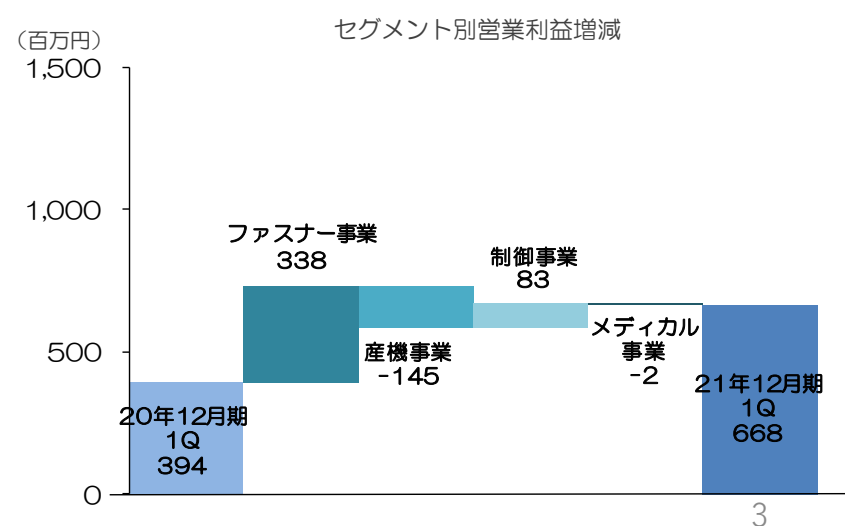
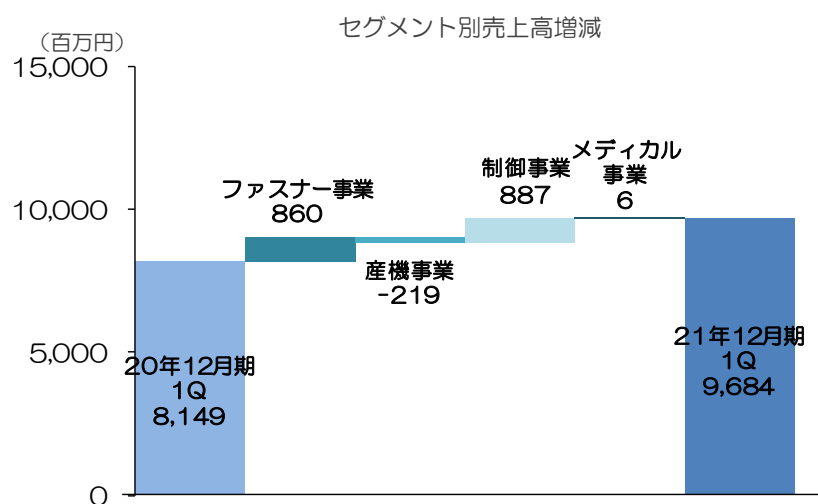
単位：百万円／％	20年12月期 第1四半期		21年12月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,149	100.0	9,684	100.0	1,534	18.8
売上総利益	1,825	22.4	2,334	24.1	509	27.9
販売管理費	1,430	17.6	1,666	17.2	235	16.5
営業利益	394	4.8	668	6.9	273	69.2
経常利益	383	4.7	746	7.7	363	94.9
税金等調整前四半期純利益	381	4.7	868	9.0	486	127.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	227	2.8	448	4.6	221	97.7
一株当たり当期純利益（円）	6.17		12.19			

- 昨年秋以降、自動車産業を中心にねじの受注が回復し、海外子会社はそれぞれの国によって影響差が異なるも、総じて好調を継続、更に昨年4月日東精工アナリテックのグループ化により18.8%の増収。
- 巣ごもり（外出制限）需要により、ゲーム機やパソコン向けの精密ねじが好調を継続し、利益創出に貢献。
- 産機事業は、EVやCASEに関わる設備投資はコロナ禍においても継続されたが、総じて先行きの不透明感から国内や米国企業を中心に設備余剰感は消えず、コロナ前の水準まで回復していない。

セグメント別売上高・営業利益（連結）



単位：百万円/%		20年12月期 第1四半期	21年12月期 第1四半期	前年前期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	6,088	6,948	860	14.1
	営業利益	63	401	338	536.2
	利益率	1.0	5.8		
産機事業	売上高	1,621	1,401	△219	△13.6
	営業利益	356	210	△145	△40.8
	利益率	22.0	15.1		
制御事業	売上高	432	1,319	887	205.4
	営業利益	△24	58	83	—
	利益率	△5.7	4.4		
メディカル事業	売上高	7	14	6	84.2
	営業利益	0	△2	△2	—
	利益率	0.9	△15.0		



単位：百万円/%	20年 第1四半期	21年 第1四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	6,088	6,948	860	14.1
自動車	2,312	2,749	437	18.9
電機・電子部品	1,053	1,286	233	22.1
住宅・建築	1,038	1,081	42	4.1
雑貨	464	498	34	7.3
IT・情報機器	388	392	3	1.0
精密機器	256	246	△9	△3.9
医療	61	72	11	18.0
エネルギー関連	67	45	△21	△32.8
その他	448	577	128	28.8
営業利益	63	401	338	536.2

- ・コロナ禍による生産活動の一時停止から回復をみせ、自動車（電装機器等）用セルフタップねじ・特殊部品が好調。
- ・移動手段など新生活様式に関連するねじ・部品が好調。

◆自動車

- ・自動車生産台数の増加により、車載用電池やECU関連製品の販売が堅調。

◆電機・電子部品

- ・テレワークや巣ごもり需要により、パソコンの需要増が寄与。

◆住宅・建築

- ・コロナ禍による住宅着工減が影響するも、住宅内装関連部品や部材建物用のねじが拡販により貢献。

◆雑貨

- ・巣ごもり需要により各種のゲーム機が継続して好調を維持し、精密ねじの販売が堅調。

◆IT・情報機器

- ・複写機の需要が高く海外を中心に安定した販売を維持。

単位：百万円／%	20年 第1四半期	21年 第1四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	1,621	1,401	△219	△13.6
自動車	1,018	927	△90	△8.9
電機・電子部品	275	162	△112	△41.1
エネルギー関連	37	60	22	62.2
住宅・建築	54	29	△25	△46.3
遊技機	54	16	△37	△70.4
医療	5	14	9	180.0
精密機器	5	9	4	80.0
IT・情報機器	15	7	△7	△53.3
その他	158	176	17	11.4
営業利益	356	210	△145	△40.8

- 自動車関連を中心に、設備投資の回復を見せた。
- 海外は、米国での受注は低迷するも、中国、タイは回復し、一定の売上に貢献した。

◆自動車

- コロナ禍において、EVやCASEに関わる設備投資は継続されるも、米国の販売が低調。

◆電機・電子部品

- 白物家電の組立装置を受注するも、コロナ禍により国内、海外ともに受注は低調。

◆エネルギー関連

- 蓄電池関連の組立装置の受注により、増加。

◆住宅・建築

- 計量器関連の検査装置を受注するも、コロナ禍で住宅関連の設備投資は低調。

◆遊技機

- 感染防止対策の影響を受け、新機種用の設備投資が低調。

セグメント別業績概要～制御事業

単位：百万円/%	20年 第1四半期	21年 第1四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	432	1,319	887	205.4
化学・薬品	43	270	226	527.9
エネルギー関連	7	242	236	—
住宅・建築	99	118	18	19.2
電機・電子部品	—	102	102	—
自動車	9	83	73	822.2
造船	57	64	6	12.3
医療	—	38	38	—
食品	23	21	△1	△8.7
その他	194	381	187	96.4
営業利益	△24	58	83	—

・昨年より日東精工アナリテックの子会社化により、セグメント売上が大幅に増加。また、高付加価値製品である地盤調査機ならびに部品検査装置も回復を見せた。

◆化学・薬品

- ・日東精工アナリテックの子会社化により元素計、水分計の売上分が増加。

◆エネルギー関連

- ・日東精工アナリテックの石油業界向け分析器の売上分が増加。

◆住宅・建築

- ・昨年11月の新製品「ジオカルテⅣ」の発売により買い替え需要が高まり増加。

◆電機・電子部品

- ・日東精工アナリテックの電機・電子に用いるイオンクロマト用前処理装置や抵抗率計の売上が貢献。

◆自動車

- ・設備投資が昨秋以降回復し始め、部品検査装置「ミストル」の販売が増加。

◆造船

- ・環境に配慮した新型造船の開発が進み流量計が受注増。

単位：百万円／%	20年 第1四半期	21年 第1四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	7	14	6	84.2
医療	7	14	6	84.2
その他	—	—	—	—
営業利益	0	△2	△2	—

◆医療

- コロナウイルス医療機関への訪問自粛など、事業環境は厳しく受注に影響。
- 昨年7月に発売した医療用照明器フリーレッドは多様な現場に対応できるようオプションや新モデルを開発中。
- 今年2月に医療用生体内溶解性高純度マグネシウムを記者発表、骨折治療用のインプラントとして実用化に向け進行中。